



海外感染症情報

学術データインフォメーション課
☎フリーダイヤル 0120-14-8734

地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2011年05月18日	ウガンダでエボラ出血熱が発生しています。続報
アフリカ	2011年05月16日	ウガンダでエボラ出血熱が発生しています。★
東南アジア	2011年05月16日	インドネシアで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。★
	2011年04月22日	ヨーロッパで麻しん(はしか)が集団発生しています。
アフリカ	2011年04月22日	エジプトで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。
アフリカ	2011年04月22日	コートジボワールでポリオが流行しています。
東南アジア	2011年04月22日	カンボジアで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。
太平洋	2011年04月21日	オーストラリアで蚊による病気のリスクが高くなっています。
東南アジア	2011年04月12日	バングラデシュで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。
東南アジア	2011年04月12日	カンボジアで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。

※特に注目すべき情報をピックアップして掲載しています。★…詳細情報を下段に掲載しています。

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/index.html>) 新着情報、最新ニュース

【2011年05月16日更新 ウガンダでエボラ出血熱が発生しています。】

エボラ出血熱は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡するリスクの高い（25～90%）恐ろしい病気です。潜伏期間は、2～21日（通常は7日程度）で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭（のど）痛で発症します。それに引き続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると口腔、歯肉、結膜、鼻腔、皮膚、消化管など全身に出血傾向がみられ死亡します。

【2011年05月16日更新 インドネシアで新たな鳥インフルエンザの患者が報告されました。】

インドネシアでは、2005年以降、鳥インフルエンザに感染した人の報告が続いています。

2011年5月13日に公表されたWHOの情報によりますと、インドネシアから、新たに鳥インフルエンザ（H5N1）の患者が1名報告されました。

この患者の家の周辺で、野鳥の糞が見つかったと報告されています。

インドネシアでの鳥インフルエンザ患者数は、2005年からの177人で、146人が死亡しました。